

## 生成 AI システム仕様書

- 1 業務名:生成 AI システムの導入・運用
- 2 履行場所:愛知県一宮市文京 2-2-22 一宮市立市民病院
- 3 目的:医師をはじめとした医療職の負担軽減ならびに事務職による業務支援と診療補助推進などの業務効率化
- 4 システム要求仕様
  - (1) 機能要件
    - 文書生成機能
      - 退院サマリー、診療情報提供書、診断書など多様な医療文書のドラフト自動生成機能を有すること。
      - 電子カルテの診療記録情報等に基づいて、適切な文章を生成できること。
      - 生成された文書の柔軟な編集、修正に対応していること。
    - 情報抽出・要約機能
      - 電子カルテ内の自由記載情報(例:医師の記載、看護記録)から主要な情報を抽出し、簡潔に要約できること。
      - 過去の診療履歴、検査結果、画像所見、処方歴などから、必要な情報を迅速に抽出し、視覚的に整理して提示できること。
    - 既存システム連携
      - 当院で使用中の電子カルテシステム(具体的なシステム名は別途提示)との API 連携または RPA による連携が可能であること。連携により、電子カルテからの情報入力(コピー＆ペースト)の手間を最小限に抑えること。
    - 多言語対応(任意)
      - 日本語を主言語としつつ、必要に応じて英語などの多言語での医療文書生成、情報検索機能が提供可能であれば尚可。
  - (2) 非機能要件
    - 可用性
      - 24 時間 365 日の安定稼働を原則とし、計画停止の場合も事前に十分な告知と調整を行うこと。
      - 稼働率の目標値は、年間 99.9%以上とすること。
    - 性能
      - 医療文書生成において、適正な応答速度を維持できること。
      - 利用者の同時アクセスやデータ量増加時においても、安定したパフォーマンスを提供できるスケーラビリティを有すること。
    - セキュリティ
      - 医療情報を扱うシステムの特性上、ISO27001(ISMS)などの情報セキュリティマネジメントシステム認証を取得していること。またはそれに準拠した厳格なセキュリティ対策を講じていること。

- 個人情報保護法、医療情報システムの安全管理に関するガイドライン(厚生労働省)最新版を遵守すること。
- データの暗号化(保管時および通信時)、厳格なアクセス制御、詳細なログ管理、定期的な脆弱性診断と対策、不正アクセス対策などを具体的に提示すること。
- 閉域網でのサービス提供が可能であること、または同等のセキュリティレベルを確保できる対策を提示すること。
- 拡張性
  - 将来的な機能追加や利用者数増加、連携システムの拡充に対応できるスケーラブルなシステムアーキテクチャであること。
- 運用性
  - 容易なシステム管理、監視、メンテナンスが可能であること。
  - 詳細な運用マニュアルおよびトラブルシューティングガイドが提供されること。
- ユーザビリティ
  - 医療従事者が直感的かつ効率的に操作できるユーザーインターフェースであること。
  - 導入後の操作トレーニングおよび継続的なサポート体制が充実していること。
  - Google Chrome の最新バージョンを推奨するが、医療機関内のポリシー等により最新バージョン維持が困難な場合でも、可能な限り新しいバージョンで利用できるよう、互換性に関する配慮および対応策を提案すること。また、既存の電子カルテ用 Chrome 利用環境との競合が発生しないよう、具体的な対応方針を提示すること。

## 5 システム保守

### (1) サポート体制

- システム障害発生時、または操作に関する問い合わせに対応できる専任の窓口を設置すること。
- 電話サポートは平日 9 時～18 時の間で対応可能であること。
- 迅速な問題解決のための明確なエスカレーション体制が確立されていること。

### (2) 障害対応

- 障害発生時はベストエフォートで対応すること。
- 定期的または緊急のパッチ適用、バージョンアップ計画を明確に提示し、当院の診療に支障が出ないよう事前に十分な調整を行うこと。

### (3) メンテナンス

- 定期的なシステムメンテナンス計画を提示し、当院の診療時間外または影響の少ない時間帯での実施を徹底すること。
- データバックアップおよびリカバリ計画を提示し、データ損失のリスクを最小限に抑える対策を講じること。

### (4) その他

- 閉域網を利用する場合の回線に関する問い合わせは、回線事業者に直接問い合わせる形となるが、ベンダーとして当院がスムーズに問い合わせできるように、必要な情報提供や連携・協力体制を提示すること。

## 6 瑕疵担保責任

- (1) システム導入後、システムの利用に重大な支障をきたす瑕疵(機能不全、仕様不適合、セキュリティ脆弱性など)が発見された場合、貴社の責任において速やかにこれを修正・改修すること。
- (2) 瑕疵の修正・改修に要する費用は原則として貴社負担とすること。
- (3) 瑕疵により当院に損害が発生した場合、貴社は当院に対し、当該損害を賠償する責任を負うこと。賠償責任の範囲については、別途協議の上決定するものとする。

## 7 その他

- (1) 提案内容
  - 上記要求仕様を満たすための具体的なシステム構成、機能詳細、導入スケジュール、費用(初期費用、月額費用、オプション費用など詳細内訳)を明確に記載すること。
  - 当自治体病院の課題解決に資する独自の提案や、医療現場における生成 AI の活用に関する先進的な知見があれば、積極的に提示すること。
- (2) 実績
  - 医療機関における生成 AI システムの導入実績があれば、具体的な導入事例、導入効果、顧客からの評価などを提示すること。守秘義務等により具体的な情報提示が難しい場合は、実績概要のみでも可とする。
- (3) 連携体制
  - システム導入後の当院担当部署との連携体制、定期的な進捗報告の方法、定例会議の開催頻度などを提示すること。
- (4) 情報提供
  - 提案内容に記載されている情報について、必要に応じて追加の資料提供や説明を求めることがある。
- (5) その他特記事項
  - 本仕様書に記載のない事項については、別途協議の上決定するものとする。